

聖愛

先日の皆既日食では、あいにくの雨のため観察することはできませんでした。子ども達の空、宇宙への興味、関心は、ますます増えています。室内遊びでは星座の形や星の名前を覚えて楽しそうです。

八月号
原町聖愛保育園

二〇〇九年七月三十一日

クールアース・デー（手作り蜜蠟キャンドル ファミリークラス）の感想

★手作りキャンドルに火を点しました。今では考えられない、静かに時が流れるようでした。娘と二人で「いいね」と言いながら心までも落ちてきました。 Y

★部屋の中で、家族みんなで影マネ大会が盛り上がりました。パパのマネする「ふくろう」は、羽はたくと頭が半分になつてしまふ大笑いでした。キャンドルの優しい光で、とてもステキな時間が過ごせました。息子はいつまでもこの日を忘れない!!と言ってくれました。 F

★ろうそく、昨夜使ってみました。とても明るく台所でも使ってみました。みんなでキャーキャーいいながら楽しめました。ふだんは電気の明るさだけど、ろうそくは目にもやさしく心も温かい気持ちになった気がします。（イライラした気持ちもホッと落ち着いたと思います。） W

★ろうそくを持ち帰ってきた時は、私に家に戻ってくるなり、早く電気消して!! 私は頭が?になつてと、ろうそくを出してきました。待ちきれないようだったので、ろうそくを灯すと、これで白くまさんの家がなくならないね。と言っていました。 M

★娘と一緒に、キャンドルライトディナーを楽しみました。ステキでした。 J

★みつろうキャンドルのやさしい光に、終始笑顔がたえませんでした。 E

★とてもきれいに火がともつて、息子は大喜びでした。 H

★キャンドルの火を家族で見えたら、子どもが「きれい、きれい」と言つて目を輝かせながら見ていました。今度キャンドルを作りたいです。 S

★保育園からいただいたみつろうを、家でも灯してみました。息子と二人で、テーブルの上のせて、キャンドルのような感覚にでもおもつたのか、わくわくしながら「はちみつ取つたんだよね〜」とふん先生から説明されたのを、断片的に記憶しているのだと思うのですが、ずっと炎を見つめていました。息子は寝るときもつけてほしいとずっと言っていました。危ないことを説明して眠りました。電気の明かりとは違い、とても幻想的で不思議な空間に、ほんのひとときの時間でした。癒すことができたようです。蜜蝋というものも初めて知り、普通のろうそくよりろうそくが垂れないのに驚きました。 T



★小さい小さい火ではありましたが、とてもキレイでした。子どもたちもすごく喜んでいました。 F

★夜ろうそくをともして、電気を消さずにつけていたら、ろうそくをのぞきこんだ息子が、まゆげをこがしてしまい、「あつかつたよ」と言っていました。息子が作ってくれたろうそくで、楽しい時間が過ごせました。息子は一生懸命「自分で作つたんだよ」とか「電気消すんだよ」とお話ししてくれました。 O

★手作りキャンドルを、夕食後に灯しました。なかなか火がつかみませんでした。ろうそくを灯すのが怖い様子だったので、火がつくのを待つ時間も普段なかなかない、ゆつたりとした時間でした。火がついたときには家族みんな喜び、やさしい明るさと灯りの輪にしばし見入っていました。とても温かな気持ちになれた数分間でした。8月に姉二人の誕生日があるのですが、そのときもこのろうそくで過ごそうね。と約束しました。本当によい経験をさせていたただけでありがとすごかったです。 K

★手作りキャンドルを使つてみて、思ったより明るい光であたたかくて、キレイだなと思いました。電気を消してキャンドルの光だけで過ごす、いつもより少し落ち着いてホットするような感じがしました。優しい気持ちになれたよな気もしました。また時々キャンドルの光で過ごしてみたいと思います。 A

★キャンドルは、私が集めるのが好きなんです。使わないで飾りました。夜、寝るときにつけました。娘と息子は、「きれいだね」「おめでとー」「お誕生日のろうそく」と言つて火をつけては、「おめでとー」「おめでとー」と言いながら消していました。「今度はお風呂で、電気を消してろうそくで入ろうね。つて娘が言っていました。 S

★七夕の夜に、子供からの要望もあって、キャンドルを灯しました。キャンドルを灯したとたん、いつもの部屋が神秘的な空間へと変わって、心が落ち着き穏やかになる感じがありました。子供達も「キャンドルの灯きれいだね」と言いながら、素敵な時間を過ごせたことを喜んでいました。 K

★娘に教えてもらいながら、家中のろうそくを集めて、夜の星を家の中で楽しめました。とても綺麗で、家族みんなが穏やかでゆつたりとした時間を過ごせました。 S

8月の保育目標 主題 「ゆつたりと」

暗唱聖句「子供たちを抱き上げ、手を置いて祝福された。」マルコによる福音書 10章16節

| | 保育目標 | 活動 | 保育者の配慮 |
|-----------------|---------------------------------|--|--|
| 0歳児 てんし | ・保育者に見守られながら、好きな遊びを見つけ楽しむ。 | ・水遊び (バットボールシャワー、ふにやふにや髪) ・ボール遊び(かごに入れる) ・マジックテープはがし | ・水の中で遊ぶおもちゃを準備し、面白そうと思える環境を整え、一つの遊びをじっくり楽しめるようにする。 ・保育者の側で、安心して、好きな玩具を使いあそべるようにする。また、遊びが展開するように保育者も一緒に遊びを楽しむ。 |
| 1歳児 つぼみ | ・戸外で体をたくさん動かし気持ちよく過ごす。 | ・プール遊び(スポンジ、シャワー) ・色水あそび ・シャボン玉 ・ふれあい遊び(体操) | ・水に触れて遊ぶ中で、おもしろさや不思議さを感じられるようにする。また、子どもの気持ちをくみ取り、言葉にして返し、思いを共有する。 ・保育者と一緒に体を動かし、遊ぶ事が楽しいと感じられるようにする。 ・十分な休息がとれるように、時間配分に配慮する。 |
| 2歳児 はな | ・友だちとのやりとりを通して、自分の気持ちを相手に伝える。 | ・色水あそび ・飛行機とばし ・押し葉作り ・型はめ遊び ・リズム遊び (音楽に合わせて身体を動かす) | ・遊びや生活の中で、簡単なルールや順番を守ることを知り、待つ、譲るという経験ができるようにする。 ・友だちと一緒に遊び、自分の気持ちを自分なりに相手に伝え、足りないところは保育者が代弁しつつ、相手の気持ちを聞き、共有できるように配慮する |
| 3歳児 | ・関心のあるものに自らまざりじっくり遊ぶ。 | 《室内》 ・紙飛行機作り、ぼかし絵 ※2 ・オブジェ作り、星座ゲーム ※3 《戸外》 | ・面白そう、やってみたくて関心がわくような誘いかけや、準備の工夫を行ない、自ら交される雰囲気作りを大切に。 ※1 ・制作物はじっくり取り組めるようにし、時間配分に配慮し、子ども自身のイメージを引き出して、表現できるようにする。 ※2 |
| 4歳児 ファミリークラス | ・様々なことに取り組み意欲的に過ごす。 | ・プール遊び ※1 ・走る、スキップ、歩くを組み合わせて(マスゲーム、リボン、ボール) ※4 | ・ゆつたりと過ごす中で、星座や宇宙への関心が更に広がるように会話を楽しむことを大切にし、ごっこ遊びへと繋げていく。 ※3 ・友だちの動きを真似、順番や友だちとの間隔が分かり、みんなで表現できる楽しみが持てるように進める。 ※4 |
| 5歳児 | ・一つのことに向かって力を合わせ、皆で作り上げる喜びを味わう。 | ・短距離走、棒引き ※6 ・ボールキャッチ } ※1 物運びリレー } 《異年齢交流》 ・わんぱく遠足 ・お泊り会 | ・互いの存在を意識し、合わせたり、聞きいれながら進めるなかで、一緒に行なえる喜びを感じ、より自信となるように導く。 ※5 ・遊びの中で競い合い、勝った時の嬉しさや喜び、負けた時の悔しさや励ましなど経験できるように機会を設ける。 ※6 |

◎ 8月の予定◎

| 日付 | 園の行事 | 職員の予定 |
|-----------------|-------------------------------|---|
| 1(土) | 夏祭り・花火大会 | |
| 3(月) | | キ保連夏季セミナー(～4日) |
| 4(火) | 合同礼拝 | |
| 5(水) | わんぱく遠足(つき組) (小学3、4年生) | 職員会議 運動会話し合い |
| 6(木) | しゃりん梅訪問 | |
| 7(金) | 久米本先生指導 | |
| 8(土) | 保護者会レクリエーション 川遊び 中山先生 | |
| 11(火) | | 衛生講習会 |
| 12(水) | 川遊び(3,4,5歳児) | 企画会議 |
| 13(木)～ 15(土) | お盆希望保育 お弁当の日 |  |
| 17(月) | お泊り会打ち合わせ(異年齢交流事業) 久米本先生指導 | |
| 18(火) | しゃりん梅訪問 | |
| 19(水) | 子育てサークル | マネージャー会議 |
| 20(木) | ポップコーン | 構造会議 |
| 23(日) | | ほれん 親と子のつどい |
| 25(火) | 久米本先生指導 | 運動会話し合い 園内研修 |
| 26(水) | 避難訓練 子育てサークル | 給食会議 |
| 27(木) | 小人さんの音楽会 | |
| 29(土) | お泊り会 | リーダー研修会 |
| 31(月) | お母さん勉強会 | |

※今月のお弁当の日は13日(木)～15日(土)

<平和を願って>

8月は原爆投下や終戦記念日があり、特に戦争や平和について考えさせられる月です。戦争や、争いは昔のことで、今の暮らしには関係がなく「平和だ」と思われる方も多いと思います。しかし、世界の各地では紛争などが今も続いています。

平和とは、[争いや心配もなく、穏やかであること。]とあります。今、私たちが出来ることは、自分のことだけでなく苦しみの中にいる人々のことを思いやることです。神様は子どもたち、保護者の方々、世界中の人々を覚え、守ってくださいます。一日も早く紛争などがなくなり、人々が苦しみから解放されて、世界中のみんなが笑顔で過ごせる日がきてほしいと願います。

この機会にご家族でも「平和」について話しあってみましょう。他人を思いやるとはどういうことなのか考える機会となりますように…。

園では、平和、戦争に関する絵本の貸し出しをしていますので、ぜひご利用ください。

・広島のパカ ・かわいそうなぞう ・ピカドン
・灯笼流し ・地雷ではなく花をください その他

<運動会> 2009年9月19日(土) 小川町体育館

運動会テーマ:「空」

サブテーマ:～高い・青い・光～

各クラスでは遊びの時間に空に関連した遊びを展開しています。遊びや保育の中で空に関心を向け、子どもたちは、空や星空に興味が出てきているようです。

運動会の種目も遊びの中からイメージし、空に関する競技にしていきます。当日の子どもたちの競技を楽しみにしてください。



<感謝・ご報告>

高田一夫様(原町区二見町)より、故 高田光夫様のご遺志金をご寄付いただきました。感謝をもってご報告いたします。

(保育園では、高田様には二見町老人会「長栄会」の会長さんとしても、長年大変お世話になりました。)

<子どもにとって遊びとは・・・>

子どもの「遊び」とは「子どもが見つめて、自分の手足を使って、工夫し発展させていくこと」だといえます。その意味では大人が「こうしなさい」と指示を与えてやらせることは遊びとはいえません。「子どもは本来『遊びたい』という衝動をもっているもの。遊ぶ道具がなくても石ころや木の実など、何かしら見つけて自由な感性で遊び始めます。」

ただし子どもはただ放っておきさえすれば「遊び始める」わけではありません。たっぷりとした「時間」。思いのままに遊びを上げられる「空間」。それからいろいろな物に見立てられる「素材」。が子どもの遊びに必要なのです。株式会社地球丸 こども天然生活 「自由な感性の伸ばし方」

保育園では、遊びの中に自然の物をたくさん取り入れています。ままごとコーナーには木片や木の実があり、それは時には肉や野菜、ごちそうなどに見立てられて使われています。

園外へ出かけると、木の枝や葉っぱ、石ころ、木の実、落ち葉など様々なものを見つけ、そのものからイメージするものを楽しんだり、大きさや色、形、匂いなどを比べたり、感触の違いに気づいたり、自分だけの宝物になったりします。また、草むらに隠れたり寝転んで空を眺めたり、斜面を見つければ滑ったり走ったり、自然は子どもの興味の気持ちを引き出し、不思議や感動、開放感を与えてくれます。

夏ならではのプール遊びや、海遊びも子ども達にとっては、大好きな遊びで、遊びたい思いはとて大きく積極的な気持ちになって、水の感触の心地よさや開放感を心行くまで楽しんでいきます。

子どもが遊びを十分に楽しむには、時間のゆとりと安全を確保する大人の目や、きっかけ作りが必ず必要です。ご家庭でも夏のいろいろな遊びを、親子で一緒に楽しんでください。

<わんぱく遠足> つき組、小学3、4年生

日時:8月5日(水) 午前8時30分～午後3時
場所:新田川(栢の木橋下上流)

<お泊り会> つき組、小学3、4年生

日時:8月29日(土) 午後3時～
30日(日) 午後12時解散
場所:鈴木天体観測所(広野町)



わんぱく遠足では、川でイカダ遊びや川の生き物などの観察。お泊り会では、先日の皆既日食で体験した事、教えていただいたことを活かし、星空を観察し、星の美しさや宇宙の神秘に触れてきます。

光の明るさ、暗闇の体験など、今年のテーマ「空」に関する経験をします。

<花火指導から> 7月21日(火)

消防署の方から花火をする際の注意事項のお話が、次のようにありました。これからの時期、花火をする機会も増えると思いますが、

“必ず大人の人と一緒に行く”が原則です。

保護者の方々も花火をする際の注意事項を知り、お子さんと一緒に守りながら楽しい時間を過ごしてください。

花火をする際の約束!!

- ① 花火をする際は水を準備する。
- ② ロウソクや香取線香を準備する。(ライター、マッチで直接火をつけない)
- ③ 人に向けない
- ④ 吹あげ花火、打ち上げ花火は大人の人が火をつける。
- ⑤ 終わった後も、花火の中をのぞかない。(火が上がることもあるため)
- ⑥ ロケット花火はピンなどで固定して行う。
- ⑦ 終わった花火は水に入れる。